

東伊豆 でっかくPR

静岡大生

町巻き込みパネルに絵

東伊豆町の良さを発信しようとして、静岡大の学生を中心に十月下旬、巨大なPRパネルを制作するイベントが同町で開かれた。子どもたちをはじめ、多くの地域住民が参加。食や観光など、地元の魅力を色鮮やかに描いた。
(佐々木勇輝)



イベントは、伊豆稲取などの地域学習に取り組み、同大地域創造学環のグループ「東伊豆フールドワーク」が主催した。同町商工会が協力し、会場には事前にグループの学生が下絵を描いた巨大パネル（縦約一・八メートル、横約一メートル）が七枚設置された。

イベントには稲取高校の生徒や、稲取中学校の生徒らも参加。大学生との会話を楽しみながら、ペンキを塗った。

パネルにはキンメダイやみかんといった町の名産品のほか、動物園や港など観光スポットのイラストもちりばめた。

グループ三年の中垣乃彩さん（二〇）は「観光客だけでなく、地元の人にも古里の良さを再発見してもらえる作品になれば」と話す。

現在、グループの学生らが三年前に作ったパネルが商工会近くの市場の壁に掲示されている。二十三日に今回のパネルに張り替えられる予定。

パネルに動物などの絵を描く
静岡大の学生ら＝東伊豆町で